



発行所 秋田県合川町役場 編集責任者(広報係) 杉浦佐一郎 電話4番 〔発行部数2,700〕

### 正しく参院選を 政治参加の機会を有意義に

第八回参議院議員通常選挙は、去る十三日告示され七月七日投票が行なわれますが、いま全国で激しい選挙戦が展開されています。

参議院議員の選挙は、他の選挙とは異なり、全国的な選挙ではない。これは、その広大な選挙区のため、有権者が候補者との間に距離感を抱くこと、また多数の候補者の中からひとりの候補者を選び出すことのむずかしさ、あるいは衆議院議員の選挙の多くが解散から総選挙という形で行なわれるのに対し、参議院には解散がなく、予定された定期的な選挙であるなどの理由が考えられます。

### 25日から境界杭うち 大野台で地籍調査 始める

合川、森吉、鷹巣三町で作成が終り、二十五日ごろは大野台国営パイロット開から土地所有者の立合いの発事業にともなう「地籍調査」の準備を進めており、確認しながら杭(くい)打ち作業にとりかかるといわれています。

### 選管だより

七月七日の参議院議員通常選挙は、次の要領で行なわれます。投票所の開閉時間、投票の順序などお間違いないよう。有権者一人残らず投票にお出下さい。

### 投票の場所は

町内に十四カ所の投票所が設けられます。あなたに

### 投票の時間

この投票所とも午前七時に開き、午後六時に締切りとなります。この時間におくれたら投票ができません。時間を守りましょう。

### 投票用紙の色

地方区選出議員は、クリム色に黒刷り、全国区選出議員は、みどり色に黒刷りとなります。つまり、先に渡

### 投票の順序

地方区(秋田県選出議員)が先、全国選出議員が後に投票します。つまり、先に渡

### 読み書きできぬ人は

代理投票という制度があります。代理人から遠慮なく投票所の係員に申し出て下さい。

### 開票は即日行なう

七月午後七時半から役場で行ないますが、順序は地方区(全国区)になります。参観は開票場の秩序を乱さない限り自由です。希望者はお出下さい。

住民登録人口と世帯	
(6月1日現在)	
世帯数	2,242
人口	5,402
男	5,736
女	1,136
先月と比較	
男	47人減
女	22人減
計	69人減

### 農業の事故防止

おそろしい農業中毒のふえる季節になり、暑いからといって、危険だと思いつつも、ついでに事故をおこすことがあります。農業散布には次のこと十分に守りましょう。

- ① 散布に使用する器具が作業中に故障などおこしたら大変。あらかじめ点検することをお忘れず。
- ② 弁当などの飲食物を散布したままに持ち歩かない。
- ③ からだ具合のわるい人や妊婦、年少者、過労気味の人は散布作業をしないように。
- ④ 作業が終わったら使用した器具をよく洗うこと。また全身を石けんで完全に洗うこと。

### 注意事項あれこれ

① 液剤などの調製はなれた人でも説明書をよく読んでから行なう。

### 統計調査にご協力を

来る七月一日現在で二つの統計調査が行なわれることになっております。

### カとハエのいない町に

ツユの季節にはいり、この時期には「蚊やハエ」の発生は住みよといふことだけなく、赤痢・チフスなどおそろしい伝染病も防ぐことになりま。

### なぜ、番号を使用するのか

わが国の郵便物の数は、ここ十数年の間で二倍にもふくれあがり、年間百億通に達するに至りました。

### 郵便番号の採用による利便さ

郵便番号は郵便物の宛先を数字で表わしたものである。数字で表わすことで、一通の郵便物でも郵便局を通過するたびに、局員が宛名を読みながら区分に区分を重ねて配達を受持つ郵便局まで送られてきたが、その宛名はまさに千差万別、流し書きの読みにくいもの、カナタイプで打たれたものまでさまざまあるわけだ。

### 郵便番号を調べるには

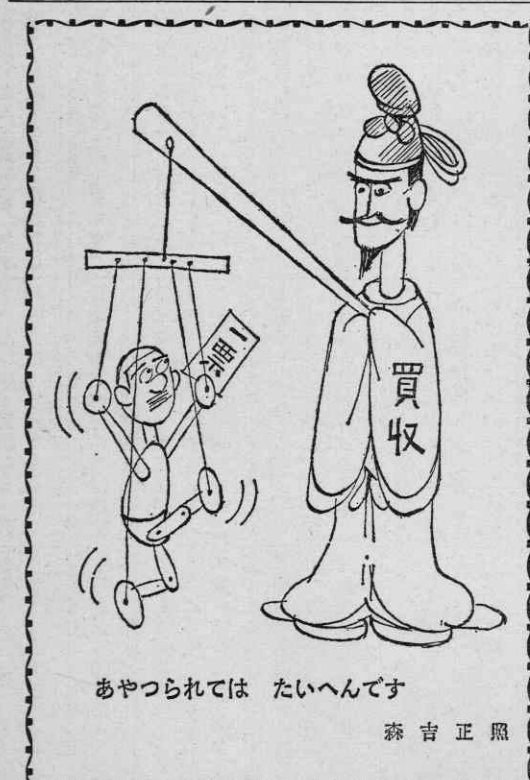
郵便局では、すでに全世帯に「郵便番号簿」を配布した。今後はこれによって宛先の番号を調べていただくことになる。



### お便りには必ず郵便番号を

下大野郵便局 合川郵便局

⑤ 便所の汲み取り口、内フタ、網戸は完全にしめるように。  
⑥ 炊事場から出る野菜クズなどの入れ物には完全なフタをするように。  
⑦ 下水の流れは滞ることのないよう完全に。  
⑧ 便所、流し、堆肥場、下水はときどき防疫剤をまいて消毒をしよう。



あやつられては たいへんです 森吉正照



# 新年度の施政方針

本項は、去る三月の町議会における山田町長の「施政方針」の要旨であります。施政方針は、町がこし一年このように進みたいということ、新年度予算案の提出とともに町長が議会で述べたものであります。わたくしたちは、町政をよく知り、そしてその方向にみんなが歩調をあわせて進むよう望みたいものです。

## 農業基盤の整備と拡大に主力

昭和四十三年度予算案を西根田、羽根山、李岱の骨子とする三月定例町議会調査と基本的な区画概要の冒頭にあたり所懐の一端調整が終り、新年度当初に申し述べ、施設の方針といたします。

一昨年、わが合川町は遅れている圃場整備事業を促進するため、町に圃場整備促進室を設置し、全町圃場整備促進委員会の発足をみたのであります。町民の願望が、県の採択することとなり、昨年度、全町圃場整備事業調査地区に指定され、それぞれ所要の調査を促進してまいりましたのであります。

よって、小阿仁川水系(杉山田、雪田、鎌沢、三木田、摩当、三里、東根田)の調査を促進してまいりましたのであります。

## 老朽校舎の改築

町立合川東小学校の老朽校舎は、新年度に永久構造で改築したい方針でありますので、財政的に見通しがつき次第町議会と協議する所存であります。

問題点としては過度の産児制限のため町内四小学校の就学児童は激減の一途をたどり、なかには一つの学校として維持できなくなるものも近い将来には出現するわけであり、いわゆる現在の地域社会生活の維持が困難

## 工場誘致について

工場の誘致は、その第三号としてあらたに男子雇用を目的とするブロック工場を大野台に誘致することが内定しており、新年度早々にその手続きを町議会に提案する方針であります。

## 登記事務の促進

特別用地は、県や町の未登記土地の登記促進及び国有地の改修等の調査を行ってまいります。また、開田等の土地登記事務の委託を受け、着々その成果をあげてまいります。

## 公共土木、農業施設

### 災害復旧事業の促進

次は、災害復旧事業であります。一昨年及び昨年の災害工事町営事業はそれぞれ年度の途中で多発したものであります。この事業は、町の財政に大きな負担となるのであります。町民の生活に支障を及ぼすこととなります。

以上三つの事業は新年度の町の一般財源のうち投資的の三つの柱であります。町の財政に大きな負担となるのであります。町民の生活に支障を及ぼすこととなります。

## 社会福祉宣言の町のあゆみ

わが合川町は一昨年九月「社会福祉の町」を宣言しました。社会福祉基金は、新年度も百万円の積立をいたしました。町民の生活に支障を及ぼすこととなります。

社会福祉部では、青少年の健全育成に力を注ぎ、昨年来ボランティアの各々の協力により、地域の子供たちの生活を守り、かつ

## 農林施策について

合川町農協の合併に伴う町の助成は百三十万円も増額交付となり、本年度が最終年度となります。増進地区開田事業は町営として促進すべく地元及び国県と交渉中であります。

また、羽根山併用林道維持事業は新年度においても引き続き実施されることになっております。

## 公民館およびマーケットの町民の利用について

昨年十二月に竣工した町公民館、合川マーケット組合が、合わせて四千数百万円を投じて町民センターとしての機能を果たすべく、着々その成果をあげております。

また、木戸石、八幡谷地内現在使用している渡し舟についてもこれを廃止し、それに代えて吊り橋を架ける案も検討中であり、

## 河川、道路等について

建設事業については、圃場整備促進して芹沢地内、上杉地内(継続)の舗装のほか、果実の促進を道城、上杉地区が実施の予定となっており、東根田、李岱、西根田、羽根山間の小阿仁川両岸の危険堤防、補強事業は本年度も継続される予定であります。

また、本町でもっとも重要な国道合川橋は、新年度一部着工の運びとなります。この橋は巾巾八(現在三・五)となり当初の案よりも大巾に工事費が増加する関係等で三カ年の継続事業となる公算が大きく、さらにその促進方を引き続き陳情するものであります。

## 町財政の実情と自主納税の促進

新年度予算の総額は、一前年より十四割の増となっております。これが、歳入の基本収入となり、その内訳として税収は三千七百六十一万八千五百円、国県補助金に依存して(町民税八百四十四万八千五百円、固定資産税千五百八十五万二千円、軽自動車税七百二十二万二千円、電気ガス税三十一万二千円、電費三十七万七千円、木材引取付費が四千七百三十七万七千円、地方債、保健施設費(保健婦人件費等)二百二十六万八千五百円(二面に続く))

## 国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計につきましては、保険料を前年度と同額に計上してありますが、現下の国保財政事情の推移から見ると、その前途には相当の多難が予想されるところであります。

## 合川病院の前途は多難

町立合川病院特別会計につきましては、前年度三百万円以上の単年度赤字が予想され、繰越赤字と合算すれば六百万円の赤字となるわけで、この病院運営については年度の途中において再三に亘り論議が交され、また協議を重ねたのであります。新年度は系統医療機関の協力を得て平常の経営に立て直したい決意であります。



町 政 を に な う

22名の新しい議員さん紹介

町民のみなさんの代表として働いてくれる二十二名の町議会議員が三月末に行なわれた選挙で選ばれました。

みなさんが選んだ議員は、これから四年間わたしたちに直接関係のある町の方向や、道路の整備、学校建設予算などを町議会で審議し、きめることになります。

一票を投じただけでなく議会傍聴などをもっと積極的にに行ない町の政治に参加していきましょう。



木村恒三 五十才



松岡 忠 六十八才



吉田 徳 四十二才



木村信夫 三十六才



嶋山宇三郎 五十六才



吉田芳雄 三十七才



米倉甚逸 五十才



福岡六蔵 五十才



金田悦財門 四十五才



工藤久男 三十四才



藤島伊八郎 五十才



三浦甚助 五十四才



桜井良蔵 四十才



斎藤孝蔵 四十五才



高橋仁一郎 四十三才



小林貞雄 五十才



福田一衛 三十才



庄司 博 五十六才



関喜兵衛 六十一才



佐藤伊右衛門 四十二才



松橋彦左衛門 四十七才

議会人事

庄司氏が議長 副議長に関氏

四月四日に開かれた町議会では、正副議長と各常任委員が定められました。正副議長の選挙は無記名投票で行なわれました。

四月四日に開かれた町議会では、正副議長と各常任委員が定められました。正副議長の選挙は無記名投票で行なわれました。

得た関喜兵衛氏ががまきり

また各常任委員会の構成も次のとおり定められました。◎印は委員長です。

【教育民生】七名

木村恒三、桜井良蔵、金田悦財門、工藤久男、藤島伊八郎、小笠原勝郎、松橋彦左衛門

【土木経済】八名

米倉甚逸、福岡六蔵、斎藤孝蔵、高橋仁一郎、小林貞雄、吉田芳雄、三浦甚助、庄司博

農薬の使用に注意しましょう

町立病院だより

十九万円余で、当初予算一億七千七百七十万円余と比較して八千七百六十一万円余の増となっております。

このように、わが町の財政は税収等の一般財政指数が極めて弱く、国県への依存度が高く、そのため助と相関関係にあるものであり、町ではあらたに納税貯蓄組合設立基金を設け、滞納者の組合組織への参加を求め、完全なる全町納税組合納税を推進することと、町職員をしてその指導にあたらせている次第であります。

このように、町財政は硬直しつつありますので、予算の執行についてはとくに配慮し、歳入歳出の均衡を保持するに全力を傾注する考えであります。

また、町職員の執務体制をより効率化して住民のサービスへ結集し、町民の信に込めたい所存でありますので、町議会の格別なるご指導ご鞭撻を期待してやまない次第であります。

出張診療の おしらせ

町の南診療所は、これまで片桐医師が町の委託を受けて診療にあたっておりましたが、先生のご都合で李岱に帰られましたので、町としても南地区のみならずその対策をいろいろ検討の結果、町立病院から次のように出張診療を行なうことになり、現在実施中です。からどうぞご利用下さい。

【診療日】 毎週、月水木金曜日 午後一時～三時まで

◆病院利用者へ 無料で送り迎え

北地区と李岱にある町立病院は交通の便が悪いため利用者のみなさんにたいへんご不便をかけてまいりましたが、病院ではこの不便を解消するため、シブで毎日無料で送り迎えをしておりますから、どしどしご利用下さい。

北地区各部落発の時間は次のとおりです。

○増沢発(公民館前) 午前九時

みなさんの声を お寄せ下さい

広報「あいかわ」を親しみやすくするために、みなさんのご意見やご要望をとりいれ、りっぱなものをお届けしたいと思っております。

お気付の点や、町内の話題などを係までお寄せ下さるようお願いしております。

(連絡先) 総務課

月刊「あきた」

希望者は お申込みを

秋田県広域協会で去る三十七年来、月刊の広報誌「あきた」を発行し、県政のようや県内市町村のいろいろなニュースをわかりやすく報道し、読者から好評をくわけております。

お便りには忘れず郵便番号を

下大野局区内……018—41  
合川局区内……018—42

郷土のあゆみ

発行部数が限られているため、書店売りはごく少数ですが町内で購読希望の方があれば広報係であっせんいたしますからなるべく早目にお申し込み下さい。

なお、この広報紙は一部四十円となっております。

〇木戸石発(農協支所前) 午前九時十分  
〇八幡谷発(公民館前) 午前九時十五分

(日曜及び祝祭日は運行いたしません)



# 大野台に、青少年の森、

## 合川 両町が共同で計画

町では、蟹沢山〜美栄部落一帯を自然公園にし、この地域に青少年の野外研修、レクリエーションセンター建設を計画しています。

この春、町では森林火災予防事業としてこの山頂に監視塔(高さ六〇メートル)を建設し、この塔を利用して展望台を設け、およそ一キロはなれた地点にある美栄部落の溜池のほとりにキャンプ施設(テント村)をつくります。

町では、かねてから駅前地区に簡易水道を施設するよう同地区の受益者と話し合いを続けておりましたが、このほど同意がまとまり、補助起債のメドもついた。最終的な実施設計を進めておられます。

施設の規模は、加入世帯が二百三十、給水人口一千人余、主体工事費(各戸への給水工事分除く)は二百二十万円ほどが見込まれています。

駅前地区は役場、公民館、マーケット、営林署、農協、合川高校、製材工場、商店街などがあって町の中心になっていますが、良質の飲料水に恵まれません。また、濁水期になると毎年水キンのように水が濁り、それによって学校を通じて記念品を贈りました。

町と消防団ではさきに町内小学生のみならず「防火ポスター」と「防火標語」を募集しましたが、このたびその入選者が次のようにきまり、それぞれの学校を通じて記念品を贈りました。

### 給水対象は一千人

#### 駅前 簡易水道を布設

また、町と同部落ではこの水道に附帯して二十四基の消火栓も設置し、火災に對しての備えも固めることになっており、今からその実現が期待されておられます。

### 一七人が入選

#### 防火ポスターと標語

町と消防団ではさきに町内小学生のみならず「防火ポスター」と「防火標語」を募集しましたが、このたびその入選者が次のようにきまり、それぞれの学校を通じて記念品を贈りました。

〔標語の部〕  
◇町民のひとりひとりが消防士 松橋厚生(南小五年)  
◇整理整頓で  
指定された日までに銀行か郵便局に納めること。

この二つの適用を受けた違反者は、それぞれ完納したときにすべて終わります。

### 交通反則通告制度

この制度のねらいは年々増加する交通違反者が、その違反の重い軽いかかわらず、すべて刑罰を科せられ前科者となる不合理を改めること、交通違反事件を簡単に、しかも早く処理しようとするものです。

この制度が適用されるのは、車両などの運転者で、七月一日から、全国いっせいに交通反則通告制度が始まります。

### 七月一日からはじまる

この制度が適用されるのは、車両などの運転者で、七月一日から、全国いっせいに交通反則通告制度が始まります。

### 慶弔たより

自三月一日 届出分  
至五月三十一日  
出生 (36人)  
おめでと。ご健康をお祈りいたします

おめでと。ご健康をお祈りいたします

後藤直美、七太郎、山田、伊東敏信、宇市、山田、吉田和則、リソ、川井、鈴木正寿、喜市、福田、福田文男、西三郎、増田、福田英樹、三郎、鈴木由美、久夫、新田、佐藤幸生、卯太郎、川井、佐藤幸生、卯太郎、川井、後藤ひろ子、靖長、下杉、鈴木光博、治財門二男、鎌沢

死亡 (31人)  
お祈り申し上げます

お祈り申し上げます

三浦三、金助、三木田、金田辰之助、本人、西根、関五郎、本人、上杉、高橋オ、信雄、八幡、高橋オ、久雄、同、平川ナ、好雄、李、木村ウメノ、吉蔵、同、佐藤ヨ子、要吉、川井、小林マサ、本人、三、後藤久三、本人、前、杉澤二、本人、増、松岡ヨ、一雄、羽根、高橋三、本人、八幡、金田米吉、万蔵、摩、坂上チエ、市太郎、上杉、工藤栄治郎、本人、上、加藤加律子、青蔵長女、東根、福岡文蔵、本人、三、向井フサ、正隆母、彌、栄

稲の水管理と  
除草

稲の水管理と  
除草

加工用トマト  
の管理

加工用トマト  
の管理

病害虫防除  
この病害虫防除は、果実の汚れが少なく、実ぐされ、虫害、雑草のよけいにもなりません。また、尻腐病の発生も少ないようです。

いよいよ  
操業開始

いよいよ  
操業開始

自動車取得税  
取得価格の3%

自動車取得税  
取得価格の3%

行政への苦情  
行政相談員に

行政への苦情  
行政相談員に

スピードに注意

スピードに注意

除草

除草

病害虫防除

病害虫防除

交通反則通告制度  
この制度が適用されるのは、車両などの運転者で、七月一日から、全国いっせいに交通反則通告制度が始まります。

交通事故防止  
三つのポイント

交通事故防止  
三つのポイント

スピードに注意

スピードに注意

除草

除草

病害虫防除

病害虫防除

防火の日  
毎月1日

防火の日  
毎月1日

全町民のねがいをこめて  
毎月1日  
「防火の日」  
部落や隣り近所で、話しあって組織をつくり、毎月1日を